中学生海外研修事業

今年から始まった中学生海外研修に参加した４人の生徒の方が、オーストラリアでの生活を通して感じたこと、学んだことを紹介します。

オーストラリアの環境と自然

3年 児玉慎二

僕は、今回夏休みを利用して海外研修としてオーストラリアに行ってきた。僕らが行った頃は冬だったらしく、空港を出るととても寒かった。だが、人々の服装はさまざまで、長そでの上にコートまで着ているような厚着の人もいれば、シャツ一枚で歩いているような人もいる。寒いと言ってもそんな感じだ。冬と考えるととても過ごしやすい環境だった。

それから、生活の中でよく見るのは、とてもきれいでかわっている野生の鳥だ。ぼくのホームステイ先では、毎週土・日曜日になると、パンを食べにその鳥が来ると言っていた。実際ぼくがその鳥を見たとき、近づいても、触ってもパンを食べ続ける鳥を見てとても驚いたし、とても感激した。

どこかのビーチに行ったときも大量の鳥が、ポテトを食べていたぼく達の近くに来て、えさをほしそうにする。そして、ポテトを投げてやると、鳥たちが争うようにポテトを奪い合って、いつの間にか50羽くらいの大群が自分に襲いかかってきたなんてこともあった。その時もやっぱり、はじめて鳥に触ることができたことと、ちっとも警戒せずに近寄ってきてくれることが少しうれしかった。

鳥だけでなく、オーストラリアで見かけたすべての動物達が少しも警戒しないで悠然と歩いたり、空を飛んだりしていた。日本では珍らしいこういった姿も、オーストラリアではごく普通の光景だということで、オーストラリアの自然の雄大な姿を目の当たりにできて、本当によかったと思っている。

まだまだオーストラリアのすばらしいところはたくさんあると思うけど、これからもあのままの姿でいてほしいと思う。

オーストラリアでの学校生活

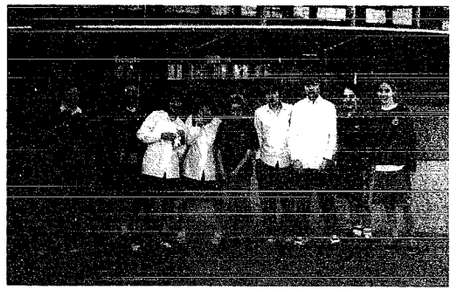
3年 田村亜矢子

私は七月二十九日から十二日間海外研修としてオーストラリアに行ってきました。そのうち五日間アボロン中高等学校へホームステイ先のルーシーと一緒に登校していました。

アボロン学校は、海岸の近くにあり、緑にかこまれた、とても環境の良いところでした。

私達の学校のように制服があり、中学生と高校生とで色分けして、生徒たちは制服のセーターの下にスカートをはいてる人もいれば女子でも黒いズボンをはいている人もいてさまざまです。校則は月中に比べて軽くアクセサリーやピアスをしている人がとても多かった気がします。月中と比べて一番の違いは二科目の授業が終わると「リセスタイム」という長い休み時間があり、また二科目授業をやって昼休みという事になっていました。学校には大きい売店があって、リセスタイムの時も昼休みの時も売店で何か買って飲食しても良いということでした。私はホームステイの人から弁当を持たされていましたが、売店でもいろいろ買ってとてもおもしろかったです。

授業では、私達のように決まった教室はなく、生徒が数学の教室や日本語の教室に移動する形式になっていて、私達はもっぱら日本語の時間しか普通授業は受けず、その他は図書室の別室でウォーリングという先生に英語を習っていました。その英語授業は売店での買い方や食事中の必要な言い方を勉強したりしていました。



今話した他にもいろいろありましたが、アボロン学校はオーストラリアの人達だけじゃなく、日本人など他の国の人もいて、とても国際的な学校でした。それに、アボロン学校は中高生共に仲が良く、休み時間などに、わいわい話をしている所をよく見かけました。そんなアボロン学校はとても居ごこちがよく、毎日毎日がとても楽しかったです。また、オーストラリアに行けたら、もう一度アボロン市に遊びに行きたいです。

学校や生徒たちの生活

3年 山田由美子

オーストラリアに着いてから三日目、初めて海外の学校で一緒に授業を受けたりしました。初めは不安とか、たくさんありましたが、みんながとても親切にしてくれて、すぐに不安はなくなりました。

しかし、言葉が分からなくて困る事も何度かありました。そんな時は、聞き直したり、辞書を使ったりして教えてくれて、とてもわかりやすかったです。

オーストラリアの人達は、時間にルーズだと言われ、どんなものかと思っていましたが、実際に一緒に行動してみると、確かに時間には、ルーズだと思いました。なぜならチャイムが鳴っても誰も周りの人達は、その場所から動こうとはせずに、しゃべったりして楽しんでいました。そのため、授業がなかなか始まらないそうです。

あと、オーストラリアは、冬だったのですが、海が近く、あまり寒くないので、授業中にサーフィンに行く生徒がいて、それを止めるのが大変だと、先生方が言っていたので、私はみんな元気がいいんだなと思いました。

向こうでは、日本語の授業もやっていて、ちょっとびっくりしました。初めてみんなと授業を受けたのが、日本語の授業で、折り紙で遊びました。クラスの人が、たくさん話しかけてきてくれたり、手作りの名刺をくれたりして、とても楽しかったし、なによりも嬉しかったです。

中学と高校が同じ校舎だったみたいで、中学生と高校生ではあまり交流はなかったようですが、中学生同士では、誰とでも仲良くしていて、とてもいい所だと思いました。

今回私は、オーストラリアへ行って本当に良かったです。オーストラリアの人からすれば私達は外国人ですが、全然差別とかなく、他の人と同じく仲良くしてくれて、現地の人の優しさに触れることができて、とても嬉しかったです。

食物と生活について

2年 小島良太

僕は、オーストラリアで海外研修をして、日本との違いをいくつか感じてきました。

まず一つ目は、オーストラリアの子供たちは、日本の子供たちに比べ、戸外での運動量がたいへん多いということです。スケボーやゴルフをしたり、冬にもかかわらずサーフィンをしているのには驚きました。また休日には家族でいろいろなところへ出かけるらしく、僕もゴルフ場へ連れて行ってもらい、ホストファミリーの子供たちと打たせてもらったり、動物園へ連れて行ってもらった時にはあこがれのコアラやカンガルーを見てきました。

二つ目に食の違いです。日本の主食はごはんです。オーストラリアはもちろんパンが主食なのですが、牛や鳥の肉を主食のように毎日たくさん食べます。特に夕食の時には毎日が肉とパンでした。夕食が豪華だったのに比べ昼食は朝のうちに作ったものか、学校の売店で買ったものとかで簡単に済ませているようでした。学校の売店には、ポテトチップスやカップヌードルなどいろいろありましたが、一個50セントのドーナツは大人気でみんな買って食べていました。学校の売店で格安のドーナツを売っているのはびっくりしたと同時にうらやましく思いました。

三つ目は気候です。オーストラリアは日本の気候とまったく逆で、八月は真冬です。でも、真冬といっても寒さはそんなに厳しくはなく、サーフィンもできるくらいです。景色も広々としていて、なんとなくのんびりとしていて、おだやかな感じがしました。

今回のオーストラリア研修で僕はいろいろな体験をし視野を広めることができました。日本とは全然違う国があるということ、月潟しか知らなかった僕には本当に良い勉強になりました。そして、これからもっと他の国のことも知りたいと興味がわいてきました。チャンスがあったら積極的にチャレンジしていこうと思っていますが、毎日家の中で、シャワーを浴びる時と、寝る時以外は、靴をはいているという生活は、結構苦痛なものだと思いました。